

AN EDITION

世界一ハイクオリティなメンズ誌、日本上陸

# THE RAKE

THE MODERN VOICE OF CLASSIC ELEGANCE

First Anniversary

ISSUE 07  
2016/1  
1,200 yen



*His Royal Highness*  
**PRINCE CHARLES**

チャールズ皇太子の素顔

## the 10 MOST RAKISH MEN

THE RAKEが選ぶ  
世界の洒落者 十傑

Special Section  
*Rake Time & Mrs Rake*

付録  
**PHILIPPE**  
リック フィリップのすべて

*Plus*

オーデマピゲより時代を象徴する新作  
「FOUR NINES STYLE」  
幻のウイスキーを求めてin Scotland



# 世界初公開! あの紳士が遂に KENJI KAGA FLORENCE “3 Fold Tie”



加賀氏は年の半分近くをフィレンツェで過ごし、残りの半分も世界中の顧客との商談で各国を飛び回っている。

加賀氏がフィレンツェに所有するタイ工房セブンフォールド社の職人が手掛けた、1月に発表される新コレクション。右の2本の「糸抜き」は、高級なテーブルクロスやカーテンに用いられている「プント ア ジョルノ」と呼ばれる手法によるものだ。が、これも10年後に存在するかはわからない、絶滅の危機にある技術。そこで、タイ職人と刺繍職人の技を集約してみたら、と実現させた一本だ。各¥30,000 Kenji Kaga Florence (お問い合わせ先は、sevenfold@sevenfold.it)

今、アジアを含めた全世界でスミズーラを中心としたクラシックスタイルが大ブームだ。かつてはほぼ自国内だけに留まっていたスモールビジネスも、魅力あるコレクションを手掛けていけば、今や世界が相手になる時代だ。

そんな状況のなかでスタート前から皆が期待を高めている新ブランドがある。来年1月にフィレンツェで発表される加賀健二氏の新ブランド「ケンジ カガ フローレンス」だ。理念は、このままだと潰れてしまいそうなイタリア伝統の職人技術を、後世に残していくこと。仕立てたあとで糸を抜いてレース刺繍のような柄を作る、「糸抜き」と呼ばれるとてつもない手間のかかったタイや、ドットを手刺繍で施したタイをはじめ、シャツやシューズのコレクションも展開する。氏のコレクションが、世界のウエルドレッサーたちを虜にすることは必至である。